

# IBM SPSS Modeler 許可ユーザー・ライセンス管理者ガイド





---

## 目次

<b>管理者ガイド</b> . . . . .	<b>1</b>
開始する前に . . . . .	1
Citrix およびターミナル・サービス . . . . .	1
ローカル・デスクトップ・コンピューターでの製品の インストール . . . . .	1

Windows コンピューターへのインストールのプッ シュ . . . . .	2
licenseactivator の使用 . . . . .	4
ライセンス・ファイル . . . . .	5



---

## 管理者ガイド

以下の説明は、IBM® SPSS® Modeler 17.1 に許可ユーザー・ライセンスのライセンス・タイプを使用しているサイトの管理者向けです。このライセンスでは、IBM SPSS Modeler を複数のコンピューターにインストールできます。その数は購入したライセンス数に制限されます。

---

### 開始する前に

認証コードが必要です。認証コードにより、管理者とエンド・ユーザーは、IBM SPSS Modeler のライセンスを取得できるようになります。

認証コードを取得するための個別の手順については、既に受け取っているはずですが、認証コードが見つからない場合は、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/support/clientcare.html> にアクセスしてカスタマー・サービスに連絡してください。

### Citrix およびターミナル・サービス

ターミナル・サービスで IBM SPSS Modeler を使用するには、コンカレント・ライセンスが必要です。ライセンスの移行については IBM Corp. にお問い合わせください。

---

### ローカル・デスクトップ・コンピューターでの製品のインストール

エンド・ユーザーのコンピューターにローカルで製品のフルインストールを行うには、2 つの方法があります。各コンピューターに手動でインストールするか、Systems Management Server (SMS) のようなアプリケーションを使用して Windows が稼働しているコンピューターにインストールをプッシュできます。

#### ローカル・デスクトップでの手動インストール

1. **インストール・メディアを用意します。** 製品の eImage をダウンロードし、共有ネットワーク・ドライブにファイルを解凍します。物理インストール・メディアがある場合、DVD のコピーを必要な数だけ作成するか、メディアを共有ネットワーク・ドライブに置きます。
2. **インストール手順書をコピーし、ライセンスに関する情報を準備します。** 製品のインストール手順書のコピーを必要な数だけ作成します。インストール手順書はダウンロード・サイトから入手できます。または、物理インストール・メディアを受け取っている場合は、DVD の *Documentation*<language>*Installation* ディレクトリーにあります。ライセンスの種類に対応する指示に従います。インストール後に、エンド・ユーザーは、サイトの認証コードを入力する必要があります。手順書をコピーする前に、手順書の冒頭に用意されているスペースにこの情報を入力します。

注: プロキシ・サーバーによって認証が妨げられる場合は、*licenseactivator* の使用を検討してください。これによって、プロキシ ID とパスワードを入力できます。詳しくは、4 ページの『*licenseactivator* の使用』のトピックを参照してください。

3. **インストールに必要なものをエンド・ユーザーに配布します。** インストール DVD (またはネットワーク上でのメディアの場所)、インストール手順書、およびライセンス情報を、各コンピューターに手動でインストールできるエンド・ユーザーに必要なに応じて配布します。

## Windows が稼働しているローカル・デスクトップへのプッシュ

IBM SPSS Modeler のインストールは Microsoft Windows インストーラー (MSI) との互換性があるため、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにインストールをプッシュできます。

## Windows コンピューターへのインストールのプッシュ

インストールのプッシュとは、ソフトウェアを任意の人数のエンド・ユーザーに、ユーザーの介入なしにリモートで配布する手法です。IBM SPSS Modeler のフルインストールを、Windows が稼働しているエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにプッシュできます。インストールのプッシュに使用するテクノロジーでは、MSI エンジン 3.0 以上がサポートされている必要があります。

## 以前のバージョンのアンインストール

以前のバージョンの IBM SPSS Modeler がインストールされているディレクトリーにプッシュする場合は、その古いバージョンをアンインストールする必要があります。11.0 より前のバージョンの IBM SPSS Modeler ではプッシュ・インストールはサポートされていないため、これらのバージョンについてはすべて手動でアンインストールする必要があります。インストールのプッシュと同様に、アンインストールをプッシュすることができます。詳しくは、4 ページの『アンインストールのプッシュ』のトピックを参照してください。

## プッシュ・インストールのプロパティー

プッシュ・インストールに使用できるプロパティーには、次のようなものがあります。すべてのプロパティーは大文字小文字を区別します。値に空白文字が含まれている場合は、その値を引用符で囲む必要があります。

表1. プッシュ・インストールのプロパティー：

プロパティー	説明	有効値	デフォルト (適用可能な場合)
INSTALLDIR	IBM SPSS Modeler のインストール先となる、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューター上のディレクトリー。このプロパティーはオプションです。これが除外された場合、デフォルトは <i>C:¥Program Files¥IBM¥SPSS¥Modeler¥17.1</i> です。	C:¥Program Files¥IBM¥SPSS¥Modeler¥17.1 などの有効なパス。	C:¥Program Files¥IBM¥SPSS¥Modeler¥17.1
AUTHCODE	認証コードを入力します。このプロパティーを指定した場合、認証コードを使用して製品が自動的に認証されます。このプロパティーを指定しなかった場合、各エンド・ユーザーがライセンス認証ウィザードを実行して、手動で認証を行う必要があります。	1 つ以上の有効な認証コード。複数の認証コードを指定する場合は、コロンで区切ります (例: <i>authcode1:authcode2</i> )。	

表1. プッシュ・インストールのプロパティ (続き):

プロパティ	説明	有効値	デフォルト (適用可能な場合)
PROXY_USERID	プロキシのユーザー ID。AUTHCODE パラメーターを指定し、インターネットへの接続でユーザー ID とパスワードが必要なプロキシを現在のサイトで使用している場合は、このパラメーターを指定する必要があります。コントロール・パネルの「インターネット オプション」の「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」で、特定のプロキシ・サーバーのアドレスとポートが指定されている場合のみ、このパラメーターが機能します。	有効なプロキシ・ユーザー ID。	
PROXY_PASSWORD	プロキシ・ユーザーのパスワード。詳細については、PROXY_USERID の説明を参照してください。	プロキシ・ユーザー ID に関連付けられたパスワード。	
COMPANYNAME	会社の名前。	任意の文字列。	

## MSI ファイル

ファイルは、DVD の *modeler*\<architecture> ディレクトリーに格納されています。<architecture> は、32bit または 64bit です。ソフトウェアをダウンロードした場合、eImage の内容を抽出して MSI ファイルにアクセスする必要があります。

## コマンド・ラインの例

製品のインストールのプッシュに使用できるコマンド・ラインの例を以下に示します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /i "modelerclient.msi" /qn /L*v logfile.txt
INSTALLDIR="C:\Program Files\IBM\SPSS\Modeler\17.1" AUTHCODE="3241a2314b23c4d5f6ea"
```

## SMS を使用したインストールのプッシュ

Systems Management Servers (SMS) を使用して IBM SPSS Modeler をプッシュする際の基本的な手順を以下に示します。

1. DVD に収録されている *modeler*\<architecture> ディレクトリー配下の適切なサブディレクトリーを、ネットワーク・コンピューター上のディレクトリーにコピーします。ソフトウェアをダウンロードした場合は、最初に eImage の内容を抽出する必要があります。
2. コピーしたディレクトリー内の .pdf ファイルを編集します。テキスト・エディターを使用して適切なプロパティを追加することにより、CommandLine の値を変更してください。使用可能なプロパティのリストについては、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティ』を参照してください。コマンド・ラインで適切な MSI ファイルを指定してください。

3. .pdf ファイルからパッケージを作成し、そのパッケージをエンド・ユーザーのデスクトップ・マシンに配布します。

## グループ・ポリシーまたは関連技術を使用したインストールのプッシュ

1. DVD に収録されている *modeler*<architecture> ディレクトリー配下の適切なサブディレクトリーを、ネットワーク・コンピューター上のディレクトリーにコピーします。ソフトウェアをダウンロードした場合は、最初に eImage の内容を抽出する必要があります。
2. ORCA などのアプリケーションを使用して、コピーしたフォルダー配下の適切な ファイルでプロパティー・テーブルを編集します。ORCA は、Windows 2003 Server SDK に付属しています。  
<http://www.microsoft.com/downloads> にアクセスして、「SDK」で検索してください。プロパティー・テーブルに追加できるプロパティーのリストについては、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティー』を参照してください。必ず、正しい MSI ファイルを使用してください。
3. 編集済みの ファイルを使用してパッケージを作成し、このパッケージをエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターに配布します。

## アンインストールのプッシュ

注：アンインストール・コマンドをプッシュすると、エンド・ユーザーによるカスタマイズが失われます。特定のユーザーについてカスタマイズが必要な場合は、それらのユーザーを配布対象から除外して、製品を手動でインストールするように依頼してください。

新しいバージョンの IBM SPSS Modeler のインストールをプッシュする場合、最初にアンインストールを行うことをお勧めします。このアンインストールは、以下のコマンドをプッシュすることにより、サイレントに実行することができます。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /X{} /qn /L+v logfile.txt  
ALLUSERS=1 REMOVE="ALL"
```

特定のバージョンの製品コードは、各バージョンがインストールされているフォルダー内の *setup.ini* ファイルで確認することができます。

## licenseactivator の使用

*licenseactivator* を使用すると、ライセンス認証ウィザードを使用しなくても、エンド・ユーザーのコンピューターを認証することができます。このコマンド・ライン・ツールは、IBM SPSS Modeler をインストールしたディレクトリーにあります。

*licenseactivator* を使用すると、製品のライセンスが交付され、*licenseactivator* のディレクトリーにログ・ファイルが書き込まれます。このログ・ファイルの名前は *licenseactivator\_<month>\_<day>\_<year>.log* になります。エラーが発生した場合は、ログ・ファイルで詳細を確認できます。IBM Corp. にサポートを依頼する場合にも、この情報が役に立ちます。

## 認証コードでの licenseactivator の使用

*licenseactivator* は、通常、製品の購入時に受け取った 1 つ以上の認証コードとともに使用します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
licenseactivator authcode1[:authcode2:...:authcodeN] [PROXYHOST=proxy-hostname] [PROXYPORT=proxy-port-number]  
[PROXYUSER=proxy-userid] [PROXYPASS=proxy-password]
```

- 複数の認証コードを指定する場合は、コロン (:) で区切ります。
- プロキシ設定は任意ですが、プロキシ経由でコンピューターを使用している場合は、プロキシ設定が必要になることがあります。必要なプロキシ設定は、固有のプロキシ構成によって異なります。すべてのプロキシ設定が必要になることがあります。



**PROXYHOST**

プロキシ・ホストのサーバー名または IP アドレス

**PROXYPORT**

プロキシ経由でインターネットに接続するためのポート番号

**PROXYUSER**

プロキシのユーザー ID (必要な場合)

**PROXYPASS**

ユーザー ID に関連付けられたパスワード (必要な場合)

## ライセンス・コードでの `licenseactivator` の使用

あまり多くはありませんが、IBM Corp. からライセンス が送付されることがあります。

```
licenseactivator licensecode[:licensecode2:...:licensecodeN]
```

- ライセンス・コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- ライセンス・コードを使用する場合、`licenseactivator` はインターネットには接続しないため、プロキシ情報を指定する必要はありません。

## ライセンス・ファイル

製品にライセンスを許可すると、製品のインストール・ディレクトリーに `lservrc` という名前のファイルが作成されます。このファイルのコピーをエンド・ユーザーの各コンピューターに対して保持しておくことができます。ライセンス・ファイルは、それが作成されたコンピューターでのみ機能しますが、そのコピーがあると、製品のアンインストールや再インストールが必要になったときに役立ちます。再インストール後に、`lservrc` ファイルを製品のインストール・ディレクトリーにコピーし直すことができます。これにより、製品のライセンスをあらためて取得する作業が省けます。







Printed in Japan